

ピアノ・ミュージックフェスティバル・セレクション1

1. アニー・ローリー／スコットランド民謡

SMFあり

☆☆☆☆☆

17世紀に実在した女性アニー・ローリーを歌った有名なスコットランド民謡です。愛し合いながらも別れなくてはならなくなった彼女の恋人・ダグラスがアニーへの想いを詩に託し、のちにその詩に曲がつけられて世界中に広まったとされています。愛しい恋人を想う切ない気持ちをイメージして演奏してみましょう。メロディーはスラーを意識しながらフレーズを丁寧に表現してください。B、Cの後半で一つのメロディーを左右の手で受け渡すところがありますが、ここはスムーズな流れで演奏できるようによく練習しましょう。左手は全体に控えめなタッチを心がけてください。

2. ひまわりの約束／秦基博

SMFあり

☆☆☆☆☆

映画『STAND BY ME ドラえもん』(2014年)の主題歌で、映画のヒットと共に多くの人に歌われた曲です。大らかなひまわりの花を思い浮かべながら、やさしく語りかけるような気持ちで演奏してみましょう。D以降は右手の細かなリズムが乱れないように、左手でしっかりとしたテンポを保ち、急ぎ過ぎないように気をつけて演奏してください。

3. トロイカ ～「四季」より／P.I. チャイコフスキー

SMFあり

☆☆☆☆☆

チャイコフスキーが母国ロシアの一年(12ヶ月)の情景をそれぞれの月ごとに描写したピアノ小品集『四季』より、「11月」の曲です。ここでは原曲をもとにやさしくアレンジしてあります。冬の雪原をトロイカ(馬そり)が走っていく様子を思い浮かべながら、明確なリズムで軽快に演奏しましょう。Dでは場面が変わり、鈴やムチの音を思わせる描写が織り込まれています。強弱も細かく切り替わりますので注意してください。Eでは曲頭のメロディーが音域を変えて左手に現れます。Fからは徐々に音量を落とし、雪の中をトロイカが走り去っていく様子を表現しましょう。

4. 恋／星野源

SMFあり

☆☆☆☆☆

2016年の大ヒットドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』エンディングテーマ。楽しい振り付けのダンスが話題となった、アップテンポの軽快な曲です。ギターのカッティングによるキレのよいリズムがそのノリの要となっています。Aの伴奏では2小節パターンのリズムを、またBではややゆったりしたノリの4分音符+4分休符のリズムを、それぞれタイトにアタックを効かせて弾くことがポイントです。またメロディーは全体に、リズムに引っぱられすぎずに8分音符を均一に出し、フレーズをたっぶり歌うように意識しましょう。間奏とエンディングのリフは、小節の頭の休符をしっかりとり覚えて正確に弾くように注意しましょう。

5. いつか夢で ～『眠れる森の美女』より／S.フェイン、J.ローレンス

SMFあり

☆☆☆☆☆

チャイコフスキーのバレエ組曲『眠れる森の美女』の「ワルツ」をもとにした、ディズニー長編アニメーション映画『眠れる森の美女』主題歌です。全体を通して、メロディーをよく歌わせながらも、ワルツのリズムを意識して、重くならないように演奏しましょう。また、全体を通してベースラインをはっきりと大事に弾くことが、リズム感を出すために重要です。61小節目からの右手は、メロディーとアルペジオを同時に演奏します。メロディーがよく浮き出るようにしてください。77小節目からは、メロディーが内声部に移りまので、よく歌わせましょう。一方、上声部のアルペジオは軽く、なめらかに演奏しましょう。

6. Love so sweet／嵐

SMFあり

☆☆☆☆☆

TVドラマ『花より男子2(リターンズ)』主題歌やCMソングとして使われた、軽快な8ビートの曲です。音の粒立ちをはっきりさせ、疾走感のある演奏を心がけましょう。全体的に硬めの音で弾くとよいでしょう。34小節目からは少しレガートに演奏します。38小節目からは再び元気なリズムになります。41小節目からの転調がこの曲の特徴的な部分です。ハーモニーの変化をよく感じて、大事に演奏しましょう。64小節目の2拍3連符はリズムが崩れやすい部分です。正確なリズムで演奏しましょう。69小節目から、音量が小さくなり、リズムの刻みもなくなりますが、決して遅くならないように気を付けましょう。

7. VIEW OF SILENCE / 久石譲

SMFあり

★★★★☆

数々の映画音楽の作曲でお馴染みの久石譲による、ロマンチックでピアノスティックな楽曲です。1989年のアルバム『PRETENDER』に収録されています。ダイナミックに演奏しましょう。冒頭の16分音符のフレーズは音の粒をよくそらせてください。18小節目からはメロディーの息遣いを意識して、たっぷり歌わせましょう。49小節目からは左手にメロディーが移ります。チェロのように朗々とうたって演奏しましょう。80小節目からの部分も、左手に主旋律があります。はっきり浮き立たせて弾いてください。96小節目からがこの曲のクライマックスです。楽器全体をよく鳴らすことを意識して演奏しましょう。

8. Starting Five / J-Squad

SMFあり

★★★★☆

ニューヨークで活躍する5人の日本人ジャズメンで結成されたスペシャル・ユニットの作品です。原曲は2管+3リズムのクインテットによるスリリングなアンサンブルで、TV番組用やロング・バージョンなどジャズならではのさまざまなバージョンがリリースされていますが、ここではそれらをミックスしつつピアノ・ソロをフィーチャーした構成としています。テーマのフレーズの運指が難しい場合は、必要に応じて1本の指で2度を同時に押さえる、黒鍵から白鍵に指を滑らせるなどの指遣いも使って工夫してみましょう。このような曲では個々の音の粒を揃えるより、やや指を寝かせてフレーズを塊でとらえ、メリハリをつけるタッチも有効です。なお、16分音符は伴奏に合わせて自然にややハネぎみに弾いてもよいでしょう。

9. 匠 -Made in Japan- / KOBUDO -古武道-

SMFあり

★★★★☆

ピアニストの妹尾武らが尺八、チェロ、ピアノという珍しい楽器編成で結成したインストゥルメンタル・ユニット「KOBUDO -古武道-」の作品で、クイズバラエティ番組『和風総本家』で使用されています。"和の感性"を大切にしながらもジャンルを超えた独特な魅力に溢れています。尺八やチェロの奏でる歌心溢れるメロディーを、ここではピアノならではの表現を工夫して、より一層情感豊かに歌い上げましょう。曲頭[A]の *f~ff* による毅然とした幕開けの後、[B]では静かに甘美なメロディーが始まります。内声の動きもよく意識してください。また、曲全体を通してのダイナミックの幅を広く表現し、最後の *fff* で思わず息をのむようなドラマティックな演奏に仕上げましょう。

10. 鮫 (エスクアロ) / A.ピアソラ

★★★★☆

鮫釣りを趣味としていたピアソラが、自身の楽団（後期五重奏団）のヴァイオリニストのために1979年に作曲した作品です。原曲のヴァイオリンの歯切れのよさに加え、ピアノの重厚さを生かしたアレンジとなっているので、メリハリをつけて演奏しましょう。冒頭は *ff* と *pp* の表現をしっかりと、11小節から続くリズムは16分音符をしっかりと感じて、走らないように。随所にみえる半音階のラインはクリシェとって、大切な音型です。意識して弾きましょう。また、リズムカルな部分とは対照的な[G]や[I]の部分は、表情豊かに演奏することで特に効果を発揮します。全体を通して、細かいスラーやスタカート、アクセントの指示は難しいですが、弾きこなせばリズムの奥行が出て全体の流れがよくなります。頑張って練習しましょう。